



報道関係者各位

竹富町・一般財団法人西表財団

「西表島世界自然遺産地域保全事業」に向けた三者協定を締結します (ダイキン工業株式会社、竹富町、一般財団法人西表財団)

協定締結式 日時：2024年4月15日(月) 15時～16時
会場：西表野生生物保護センター

ダイキン工業株式会社、竹富町、一般財団法人西表財団の3者は、この度、西表島の山と海をつなぐ自然生態系と豊かな生物多様性の保全・再生に取り組むために協定を結ぶこととなり、4月15日「イリオモテヤマネコの日」に、西表野生生物保護センターにおいて協定締結式を行います。

ダイキン工業株式会社は、2014年より社会貢献事業「“空気をはぐくむ森”プロジェクト」を、海外6か所、国内1か所(北海道知床)で実施しており、今回、西表島が新たな支援地として加わることになりました。

この協定に基づき、「西表島世界自然遺産地域保全事業」に対して、ダイキン工業株式会社より、今後10年間で総額1億円の支援がされます。

■「西表島世界自然遺産地域保全事業」の概要

本事業では下記3つの活動を通して、生物多様性の保全や地球温暖化の防止に寄与するとともに、地域住民の島の自然や保全の取組みに対する理解と関心が深まることを目指します。

(1) 世界自然遺産の亜熱帯の森を守る活動

西表島の東部では家畜から野生化したヤギ(ノヤギ)が繁殖し、貴重な亜熱帯林の植生への影響や生態系のバランスが崩されることが懸念されています。食害等の基礎的なデータ収集とモニタリング、行動追跡調査などの対策を実施し森林の減少を阻止します。

(2) 日本最大のマングローブの森を健全に維持する活動

島の低地部から沿岸にかけて広がるマングローブ林は日本最大の面積を誇り、さまざまな生き物をはぐくんでいますが、深刻な漂着ゴミの被害を受けています。回収・処理の支援に加え、マングローブ林の生態調査やモニタリングを行い、干潟環境保全の重要性を啓発します。

(3) 生物多様性を支える海の森を再生する活動

島周辺の浅海域ではアオウミガメの食害により藻類が激減しています。日本ではこの地域だけに生育する絶滅危惧種の「ウミシヨウブ」が絶滅の危機にあるため、採食防止柵の設置・維持・管理に取り組み、産卵や稚魚成育の場所として海の生き物に不可欠な藻場を守り、海の森の再生をめざします。

■協定締結式のご案内

日時：2024年4月15日（月） 15時～16時

会場：西表野生生物保護センター

（竹富町字古見・大原港より車で15分）

※大原港からの移動手段がない場合には、ご相談ください。

<お問い合わせ先>

●一般財団法人西表財団 担当：徳岡

TEL：0980-84-7011 MAIL：h-tokuoka@iriomote.or.jp

●竹富町自然観光課 担当：高橋

TEL：0980-83-1306